

弘前大学教職大学院 公開セミナー

- 学び続ける教員を支える、最新の教育課題をテーマとするセミナー
- 令和4年度から県教育委員会と共催
- オンライン 土曜日開催
- 全国どこからでも参加可能(無料)
- 申込は、右チラシのQRコードから

第1回 多様な性と子どもたち—学校のもつ可能性—

LGBTQなど性的マイノリティについては、社会的にも広く知られるようになってきました。では、実際に教育現場では、どのような対応が求められるのでしょうか。当事者として様々な発信を行ってきた講師から、体験も踏まえて、当事者の子どもとどう向き合うか、学校で何ができるかを伺います。

第2回 授業のユニバーサルデザイン

すべての子が楽しく学び合い「わかる・できる」を目指した授業づくりとは？ 令和の日本型学校教育構築の視点を踏まえ、「誰一人取り残さない」全員参加の授業について考えます。

第3回 ゲーム依存の子どもにどう接するか？

インターネット・ゲームを利用する子どもに何が起きていて、何が問題視されているのでしょうか？最近の研究から明らかになってきた知見を示しつつ、スマホやゲームと上手に付き合うための認知行動療法のテクニックを紹介します。



弘前大学教職大学院

R4.6.14掲載

公開セミナー

最新の教育課題を幅広く扱い、専門家の方々からお話を伺います。
すべてオンライン開催で、県外の方も参加可能です。各回ごとにQR
コードからお申込みください。

第1回 2022年8月20日(土) 13時30分～15時40分 参加費無料 <申込締切> 8/16

多様な性と子どもたち —学校のもつ可能性—

性的マイノリティの当事者として、青森県でさまざまな発信を行ってきた柳田さんに、自身の体験や、当事者の子どもとどう向き合うか、学校で何ができるかを伺います。

講師：柳田 創 氏(スクランブルエッグ事務局長)



第2回 2022年9月17日(土) 13時30分～15時40分 参加費無料 <申込締切> 9/13

授業のユニバーサルデザイン

通常の学級と特別支援学級の担任、管理職、教育委員会指導主事(特別支援教育担当)を経験された土岐先生に、授業への「全員参加」の視点からお話しいたします。

講師：土岐 賢悟(弘前大学、日本授業UD学会青森支部副支部長)



第3回 2022年11月12日(土) 13時30分～15時40分 参加費無料 <申込締切> 11/8

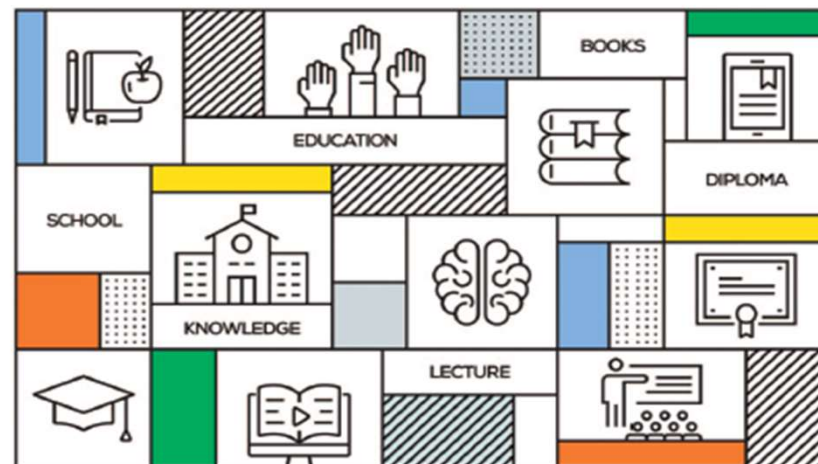
ゲーム依存の子どもにどう接するか？

青少年のインターネット・ゲーム依存の問題について研究してきた新川先生(臨床心理学)に、「明日から使える認知行動療法のテクニック」についてお話しいただきます。

講師：新川 広樹(弘前大学)



弘前大学教職大学院HP (<https://www.edu.hirosaki-u.ac.jp/gs/pdotteachers.html>) からもお申込みいただけます。
トップページ左の研修講座申込ボタンから入り、希望する講座を選択していただくと、申込フォームに行きます。



お問い合わせ先

弘前大学教職大学院 教授 吉田 美穂
TEL & FAX : 0172-39-3398 Email : m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp